

# 「デジタル×デザインワークショップ」～デジタルの力で叶えよう！ 미래のビジョン～」を開催

- 四国総合通信局と四国情報通信懇談会地域デジタル実装部会は、令和5年11月6日、香川大学情報化推進統合拠点において、「デジタル×デザインワークショップ」を開催し、オンラインでの参加も含め、自治体、通信事業者、通信関連メーカー・ベンダ、大学等から約50名の参加がありました。
- 四国におけるDXの推進に向けて、デジタル技術を暮らしやビジネスを変えるツールとして活用するため、デザイン思考を用いた課題解決の手法についての「講演」及び、身近な分野における公共サービスの課題についての掘り起こしとその解決に向けた共創のプロセスを学んでいただく「ワークショップ（グループワーク）」を実施しました。

## ■ 講演

香川大学創造工学部においてデザインの力を備えたイノベーション人材の育成に取り組まれている**石塚 昭彦 准教授**から、ユーザ視点に立って、地域の暮らしやビジネスのビジョンを描く「デザイン思考」を用いた課題解決の手法について、事例をまじえてご講演いただきました。



＜石塚講師＞

## ■ ワークショップ

**石塚先生と米谷地域デジタル実装部会長**（香川大学創造工学部准教授）をコーディネータとして、デザイン思考による共創のプロセスを体験いただくワークショップを実施しました。

参加者はグループに分かれ、**創造工学部の学生をファシリテーター**として、「**目指せフードロス・ゼロ ～ITを活用した食品ロス削減の取り組みを考えよう**」をテーマに、価値観を共有し、解くべき問いを考え、課題が解決された“**ありたい姿**”「**ビジョン**」を描き、その実現のための「**アイデア**」を出し合いました。

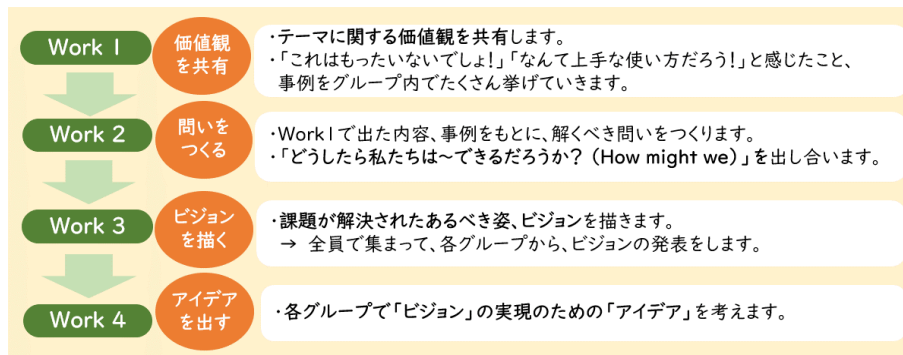


＜米谷部会長＞



＜ワークショップの様子＞

### ＜ワークショップの流れ＞



## ■ 参加者の声

- ・「短時間ではあったが、デザイン思考のポイントを理解できた」
- ・「新規事業について、これからはデザイン思考が必要だと感じた」
- ・「大学生達にワークを支援していただき、短い時間ながらも中身の濃い体験ができた」
- ・「社内で取り組む場合もサポート役の存在が重要と感じた」